

## The association between an inflammatory diet and global cognitive function and incident dementia in older women: The Women's Health Initiative Memory Study

### 高齢女性における炎症作用を有する食事と認知機能および認知症の発症との関連:The Women's Health Initiative Memory Study

Kathleen M Hayden, Daniel P Beavers, Susan E Steck, James R Hebert, Fred K Tabung, Nitin Shivappa, Ramon Casanova, JoAnn E Manson, Claudia B Padula, Elena Salmoirago-Blotcher, Linda G Snetselaar, Oleg Zaslavsky, Stephen R Rapp

*Alzheimers Dement.* 2017 Nov;13(11):1187-1196. PMID : 28531379

**背景：**地中海食および高血圧の予防、改善のための DASH 食は認知症のリスクの低さと関連がある。我々は食事の炎症作用と軽度認知障害 (MCI) および認知症のリスクとの関連について検討した。

**方法：**7085 人の女性 (65–79 歳) のベースライン時の食物摂取頻度調査票を用いて、食事性炎症作用指数 (DII) スコアを求め、DII スコアを 4 群に分けた。認知機能は年に 1 回評価し、MCI とすべての要因による認知症の発症は一元的に診断した。混合効果モデルにより経時的な認知機能低下を評価し、Cox モデルにより DII スコア群ごとの MCI もしくは認知症のリスクを評価した。

**結果：**平均 9.7 年間で、認知機能障害を発症した者は 1081 人であった。より高い DII スコアはより顕著な認知機能低下および認知機能障害の発症と関連していた。DII スコアの最も低い群 (抗炎症作用群：第 1 群を参照) と比較した DII スコア他 3 群の調整ハザード比は、第 2 群が 1.01 (0.86–1.20)、第 3 群が 0.99 (0.82–1.18)、第 4 群が 1.27 (1.06–1.52) であった。

**結論：**炎症促進作用の高い食事は MCI または認知症のリスクの高さと関連があった。

**この論文を読んで：**本論文において、DII スコアの第 4 群 (最も炎症作用の高い群) でのみ第 1 群 (最も炎症作用の低い群) に比べ、認知機能障害発症のオッズ比が有意に高かったことから、DII スコアが最も高い者と最も低い者の栄養素、食品摂取量の違いについて知りたいと思った。食事の特徴について明らかにすることで、将来的に認知機能低下予防となる食事の提示ができるようになる。